ボーイハント（1960）

WHERE THE BOYS ARE

メディア 映画
ジャンル 青春　ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 99分
初公開日 1961/05/02
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

これが映画デビューのＣ・フランシス唄う主題歌が流れ、明るい幕開けのＭＧＭの青春喜劇だが、後半にいくに従って、なかなかシリアスに変容する。つまり、浮かれ騒ぐ若者たちに一つお灸をすえてやろうという挿話が入るのだが、それで全体の気分が損なわれないよう、うまくまとめている。まず、舞台となるフロリダのローダデールが紹介され、一転して吹雪すさまく中西部の名門女子大の前、氷に足を取られる主人公を紹介。今で言えばメグ・ライアンに似たＤ・ハート扮するメリットは、頭はいいのだが成績は進級ギリギリ。しかし、悩んでもいられない、春休みをローダデールですごし、あわよくば素敵なＢＦを見つけんと、仲良しの背高のっぽのタグル（プレンティス）、ホッケー部の逞しきアンジー（フランシス）、ちょっとぶりっ子のメラニー（ミミュー）と四人連れ立って車で出発。途中、飄軽なミシガン大生のＴＶ（テレビ業界への就職を狙っているのでそのあだ名がついた。Ｊ・ハットン好演）を拾って、彼は早速、タグルと親密に。メラニーはエール大生と名乗るフランクリンと親しくなるが、後でその相棒にレイプされるという禍根を残すワケ。メリットは銀行家の孫のブラウン大生ライダーと相思相愛になり、アンジーは“知的ジャズ”を標榜する学生バンドのリーダー、ド近眼のバージルをものにする。彼らがメラニーの一件をしかと胸に刻んで、それぞれ素敵なカップルに成長していくさまが、水中ショウに飛び入りするなどケッ作なドタバタを織りまぜて、軽快に綴られている。ちょっとマネしてみたくなるアタックの仕方。ライダーが浜の砂の上に“？”と指で書いて無言でメリットの名を尋ねるところ。キザ～。

【クレジット】

監督	ヘンリー・レヴィン	Henry Levin
製作	ジョー・パスターナク	Joe Pasternak
原作	グレンドン・スウォーサウト	Glendon Swarthout
脚本	ジョージ・ウェルズ	George Wells
撮影	ロバート・ブロンナー	Robert Bronner
音楽	ジョージ・ストール	George Stoll
出演	ドロレス・ハート	Dolores Hart
	ジョージ・ハミルトン	George Hamilton
	コニー・フランシス	Connie Francis
	イヴェット・ミミュー	Yvette Mimieux
	ジム・ハットン	Jim Hutton
	バーバラ・ニコルス	Barbara Nichols
	ポーラ・プレンティス	Paula Prentiss
	チル・ウィルス	Chill Wills
	ショーン・フリン	Sean Flynn

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.